

作成日 令和3年1月4日

令和3年度第4回 高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会

WG 情報交換会議 議事録

日付	令和3年12月17日（金）
時間	10:00～11:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 福祉センター2階第1研修室
	障害者地域生活支援センターほっと、香川県障害福祉課、三光病院、大西病院、ピアサポーター、相談支援事業所EVEN、高松市健康づくり推進課、高松市障がい福祉課、三木町福祉介護課、高松市障がい者基幹相談支援センター（中核拠点）（2名） 順不同 計11名

※以下議事録、他の各資料中に GH、WG の記載があるときは GH＝グループホーム、WG＝ワーキンググループの意味である。

議題1：情報交換	
議事	・ はばたきの運営が2名追加になり、3名の体制になった。 ・ 香川県障害福祉課より、12月20日（月）香川県地域包括 WG、1月14日ピアサポーター交流会・検討会実施予定

議題2：医療と福祉の連携ワーキンググループの報告	
議事	令和3年11月19日（金）WG 実施（資料1参照） ○ワークショップの開催について ・ 日程について 人事異動も考え、5月に開催を検討していく。 医療機関としては午後からの開催の方が参加しやすい。 午後の早い時間より 15:00～の方が都合が付きやすい。 ・ 開催方法はリモートに絞る。
決定事項	・ テーマや目的など具体的な内容を検討していく。
今後の動き	次回 12月24日（金）10:00～11:00WG 開催予定

議題 3：スーパーバイザー派遣、ピアサポーター派遣について	
議事	・ 次第参照 ・ 個別支援 B 様：事例検討会を開催予定 現在の支援の在り方について、ピアサポーター、B 様支援者、ピアサポートバンキングからピアサポーターに参加してもらい、検討をしていく。

議題 4：ピアサポート活動推進ワーキンググループの報告	
議事	・ 資料 2 参照 ・ 前回パンフレットを周知した事業所に対し、アンケート調査を実施予定。アンケートの内容について部会内で確認を行う。 ピアサポーター実施加算について取る予定はあるかどうか確認する項目を作ってはどうかという意見が出る。 ・ 個別支援スキルアップ研修について 12 月 21 日（火）開催予定
決定事項	・ アンケートについて、部会内で確認ができたため、対象事業所に送付する。
今後の動き	次回令和 4 年 1 月 20 日開催予定。 アンケート結果の確認を行い、パンフレットを修正していく

議題 5：高齢者分野との連携に関する報告	
議事	資料 3 参照 ・ 大西病院では、以前より地域包括支援センターとの連携がスムーズになったと感じている。
決定事項	・ 来年度介護支援専門員との合同研修会を企画していく。
今後の動き	次回：令和 4 年 1 月開催予定。

議題 6：精神科病院の地域移行に関する取り組みについて報告	
議事	○三光病院 資料 4 参照

	・地域移行を利用し退院をされた方に退院に向けての準備をどのように行ったか。地域移行を利用してどうだったか質疑応答もまじえ実施。 ・今後 12 月 21 日にクリスマス会を合同で開催予定。 院内のフェーズに合わせ対応を柔軟に考えていく。 ○大西病院 ・コロナウイルスについてメンバーに伝えることで、コロナの影響で現在外出や外泊ができない現状があることを伝えた。 ・薬の効果について薬剤師から伝える機会を持ち、下剤の調整について悩んでいる方が多い。ポイントは食事と運動が大事になってくることを伝えた。 ・栄養士からの講義を踏まえ調理をする。メンバーからは、赤飯を作りたいと希望がでる。 ・16 日に開催した年内最後の個別面談で今までかたくなに自宅へ帰りた いと希望されていた方が、グループホーム職員から説明を行ったこと でグループホームへ興味を持つようになった。繰り返し伝えていくこ とで本人の中でも折り合いがついたようであった。今後主治医と相談 しながら検討をしていく。 ・3 名の方に対し、優先順位も考えながら退院支援を進めていく予定。
決定事項	特になし
今後の動き	動きがあれば部会内で共有していく。

議題 7：精神障害にも対応した地域包括ケアワーキング	
議事	日時 12 月 20 日（月） 参加者：医療（三光病院、大西病院）福祉（障害者地域生活支援センターほっと、基幹相談支援センター中核拠点）、保健（健康づくり推進課） 内容：地域移行・地域定着について事例検討を行う。 ピアサポーターの活性化について意見交換会を実施。岡山での活動体制についても報告あり。 各圏域の取り組み状況を共有し、アドバイザーより意見をもらう予定。

次回の日時と場所について検討中

令和3年度 精神保健福祉部会 WG 情報交換会議

1、日 時：令和3年12月17日（金）10：00～11：30

2、場 所：かがわ総合リハビリテーションセンター福祉センター2階第1研修室

3、出席者：

4、議 事

（1）情報交換

（2）医療と福祉の連携ワーキンググループの報告 （資料1）

（3）スーパーバイザー派遣、ピアサポーター派遣について

（個別支援）

- ・A 様：4月21日(水) 5月19日(水) 6月30日(水) 7月21日(水) 8月25日(水)
9月22日(木) 10月27日(木) 1月26日(水) （1時間）
- ・B 様：6月9日(水) 7月7日(水) 8月4日(水) 9月8日(水) 10月6日(水)
11月10日(水) 12月1日(水) （50分）
事例検討会（予定）
- ・C 様：9月16日(木) 10月13日(水) 11月22日(月) 12月21日(火)
- ・D 様：12月末から1月にかけて実施予定

（相談支援専門員フォローアップ研修 中止

- ・日 時：8月12日(木) 19：30～20：00
- ・派遣者：ピアサポーター（精神障がい）1名 相談支援専門員1名

（高松市前田地区民児協）

- ・日 時：8月27日(金) 19：30～20：00⇒12月24日(金)19：00～19：30
- ・派遣者：委託相談支援専門員1名 エリアの基幹センター相談支援専門員1名

(地域生活定着支援センター事例検討会のファシリテーター)

- ・日 時：9月30日(木) 13：30～15：00
- ・派遣者：相談支援専門員 1名

(高松市社会福祉協議会国分寺)

- ・日 時：10月1日(金) 13：30～14：30⇒12月1日(水)13：30～14：30
- ・派遣者：委託相談支援専門員 1名 基幹センター相談支援専門員 1名

(高松市健康づくり推進課 当事者のためのスキルアップセミナー)

- ・日 時：11月30日(火) 10：00～11：30
- ・派遣者：ピアサポーター 2名（精神障がい）

(高松市健康づくり推進課 統合失調症家族教室)

- ・日 時：10月28日(木) 13：30～15：30
- ・派遣者：相談支援専門員 1名
- ・テーマ：社会資源の利用について

(精神障害にも対応した地域包括ケアシステム WG 会議)

- ・日 時：12月20日(月) 9：30～12：00
- ・派遣者：委託相談支援専門員 1名 基幹センター相談支援専門員 1名
- ・テーマ：事例型スーパービジョンのファシリテーター

(ピアサポータースキルアップ研修会)

- ・日 時：12月21日(火) 9：30～12：00
- ・派遣者：ピアサポーター2名
- ・個別支援に関する研修

(大川圏域自立支援協議会)

- ・日 時：1月14日(金) 10：00～12：00
- ・派遣者：相談支援専門員 1名

(高松市健康づくり推進課 統合失調症家族教室)

- ・日 時：2月24日(木) 13：30～15：30
- ・派遣者：ピアサポーター 1名（精神障がい）

(4) ピアサポート活動推進ワーキンググループの報告(資料2)

(5) 高齢者分野との連携に関する報告(資料3)

(6) 精神科病院の地域移行に関する取り組み報告
(三光病院) 資料4

(大西病院) 資料5

(7) 精神障害にも対応した地域包括ケアワーキング
日時: 12月22日(月)
参加者: 医・保・福から2名ずつ参加

5、次回の会議

日時: 2月日(金) 10:00~11:30

会場: かがわ総合リハビリテーションセンター

日 時: 令和 3 年 11 月 19 日(金)10:00~11:00

場 所: Zoom会議

参加者: EVEN、ライブサポートセンター、支援センタークリマ、香川県障害福祉課、ほっと(敬称略)計 5 名

○保健・医療・福祉の連携ワーキンググループの開催について

(意見)

□ 日程の候補

- ・連休を過ぎた 5 月の 2 週目あたりがいいのではないかな。
- ・医療機関の多くは、業務の流れとして午前中が忙しいため、午後のほうが参加しやすいのではないかな。
- ・従来、平日の開催であったが、土曜日にも視野に入れてはどうかとWG代表情報交換会での意見もあった。
- ・参加者の選択の幅を持たせるため、また、あまり大人数になるとプレゼンだけで 2 時間を超える可能性も考慮して、2 回に分けて開催してはどうか。
- ・人事異動を考え4月に案内、参加申し込み、プレゼン資料の作成、配布を考えると、5 月後半くらいの開催が望ましいのではないかな。例:5月20日(金)、21日(土)、27日(金)、28日(土)のうち2日間など

□ 当日の流れ

- ・各機関もしくは個人につき 3 分程度で手元資料に加えてプレゼンするくらいの持ち時間で大丈夫かな。
- ・各参加者や参加機関への質問は事前集約して、当日までに運営側が整理して、参加者に応答してもらう方法はどうかな。
- ・プレゼンの最中にそのままチャット機能で質問し、最後の質問タイムで順番に運営スタッフが確認していくのはどうか。万が一、質問が多い場合には運営スタッフがその場で選んで答えてもらう。
- ・従来の名刺交換の代わりに、質問終了後も、残ってフリートークの部屋を用意してはどうか。
その場合、全員参加のままでは会話が自由にやりづらいかもかもしれない。
- ・フリートークについては残った人たちで、ランダムにグループ分けをして、交流してもらってはどうか。
ただ時間をどのくらい確保するか。本当にランダムでもいいのか。人数は1G あたり4~10人程度かな。

(結論)

- ・5月後半にリモート開催にて、同じ内容の交流企画を2回開催。両方参加も可。紹介冊子は共通。
- ・各参加者への質問についてはチャット機能を活用して、プレゼン終了後にまとめて答える方式。

●次回の保健・医療・福祉の連携ワーキンググループについて

- ・次回 12/24(金)10:00~11:00 Zoomにて実施予定。

主な検討内容として、①主題となるテーマや具体的な当日の流れ、②各機関・個人の紹介様式の作成

令和3年度 第2回 ピアサポート活動推進ワーキンググループ議事録

日時：令和3年10月18日（月）10：00～10：20

場所：合同庁舎4階ダイケア室B

参加機関：ピアサポーター4名

香川県障がい福祉課

高松市障がい者基幹相談支援センター（2名）

計7名

1. 下半期ピアサポーター増員について

高松圏域に登録をされているピアサポーターの中から、個別支援をしたいと希望をしている5名の方へお声掛けをさせていただき、3名の方がワーキンググループへの参加を承諾された。11月から3名の方を加え、計7名のピアサポーターで活動をしていく。

2. ピアサポーターパンフレット増刷に向けてチラシの修正及びアンケート調査内容について 意見集約

○チラシの修正について出た意見

- ・表面のフリー素材の絵をピアサポーターの中からイラストが得意な方に書いてもらい差し替えたかどうか
- ・3ページ目の活動する上での配慮の欄は必要だろうか⇒ピアサポート活動を始めたばかりの方の事も考えると残しておく方がいいのではないか。
- ・3ページ目：「もっとこんな活動がしたい」という欄の「もっと活動したいが依頼がない。ピアサポーターの活動を知ってほしい。理解してほしい」という項目が消極的に感じる。⇒「依頼があった事柄については全身全霊を傾けて取り組んでいます。」「ピアサポート活動の普及啓発活動に力を入れています」と変更してはどうか。
- ・裏面の「ピアサポーター派遣を依頼したい場合は？」の欄に⇒「依頼される場合は普段相談をされている支援者の方から依頼をお願いいたします」と追加する。
- ・裏面の「ピアサポーターのお問合せ先」の欄に⇒住所も追加記入する。
- ・裏面の作成日を⇒「(改訂) ○年○月○日」と変更

○アンケート調査について

対象：前回パンフレットを送付した事業所

目的：周知活動を行ってきて、パンフレットを送付後の変化について知る。

案：

- ①ワーキンググループで活動しているピアサポーターが実際に当事者へ向けて周知啓発活動を行った5つの事業所に向けてアンケートを取ってはどうか。周知後の効果についても聞く。
 - ・窓口になってくださった支援者の方に記入をしていただき、①周知啓発活動を行った後、ピアサポーターの認知度について何か変化を感じるか②印象に残っているエピソードがあれば教えてもらう。
- ②その他の送付先へ：アンケート内容について
 - ・パンフレットの内容を理解していただけましたか？

- ・ピアサポーターを利用したいという声を聞いたことがありますか？
- ・ピアサポーターを知っていますか？（☐よく知っている☐聞いたことがある☐全然知らなかった）
- ・ピアサポーターになりたいという方の声を聞いたことがありますか？
- ・ピアサポーターに相談に来てほしいという声を聞いたことがありますか？
- ・パンフレットの内容を理解していただきましたか？
- ・ピアサポーターを利用したいですか？
- ・パンフレットについて自由意見、何か意見がありますか？

結論：前回周知をした事業所に向けて、現在のパンフレット及びアンケートを送付し、改善点等意見を集約後、パンフレットを修正していく作業を行うことに決まる。
アンケートのたたき台を作成し、ワーキンググループ内で確認後、事業所へ送付する。

3. 12月開催予定の個別支援スキルアップ研修について内容を検討

案：

- ・事例をもちいて、一対一で対話力の向上、ストレングスを出し合う、You メッセージ・I メッセージを使ったトレーニング。雑誌に載っている匿名の事例を活用。
- ・個人情報の取り扱いについて
- ・個別支援を実際に行っている方の成功体験や失敗体験の共有。（工夫、配慮、きっかけ）
- ・面接の体験を一対一で実施し、フィードバックを行う。
- ・ピアサポーターが個別支援に臨む際の気持ち、心構えについて

結論：事例検討は行わず、現在個別支援を行っている3名のピアサポーターの方に、実際の派遣の際の心構えや個別支援を発表していただき、グループワークで深め、発表の時間を持ち、共有をする。

次回：令和3年11月18日（木）10:00～11:00

場所：香川県合同庁舎4階ダイケア室B

令和 3 年 月 日

関係機関各位

高松圏域自立支援協議会
精神保健福祉部会
部会長

令和 3 年度 ピアサポート活動におけるアンケート調査のお願い

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は本協議会の活動に多大のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会では、ピアサポーターの活動の場の機会
拡充に向けて、令和元年度にピアサポーター活動推進ワーキンググループを立ち上げ、周知啓
発活動を行ってまいりました。その活動の中でピアサポート活動に関するパンフレットを作成
し、御事業所に周知させていただきましたが、今後のさらなるピアサポーターの活動の向上の
ためにアンケート調査へのご協力をお願いいたします。

つきましては、ご多用中誠に恐縮ですが、別添アンケート用紙にご記入の上令和 4 年 1 月 14 日
(金)までに FAX またはご郵送くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご不明な点がございましたら末尾お問合せ先までご連絡くださいますようお願い申し上げ
ます。

敬具

問い合わせ先・返信先

高松市障がい者基幹相談支援センター（中核拠点）

〒760-0066

高松市福岡町 2 丁目 2 4 番 1 0 号社会福祉法人高松市社会福祉協議会
福祉コミュニティセンター高松東館内

TEL：087-880-7012

FAX：087-880-7013

担当：

ピアサポーターアンケート調査

返信先：高松市障がい者基幹相談支援センター Fax：087-880-7013

※郵送でも結構です。アンケート本文下の住所までご郵送ください。

締め切り：令和4年1月14日（金）

御事業所名：

ご担当者様：

1. パンフレット内のピアサポーターの活動についてご存じでしたか？

☐ はい ☐ いいえ



はいにチェックをされた方は、知っている活動にチェックをお願いいたします。（複数回答可）

- ☐ 研修や家族教室での体験談の発表 ☐ 自宅や面接室での個別相談
☐ 地域住民の方へむけた周知啓発活動 ☐ 精神保健福祉部会等の会議に参加
☐ 精神科病院入院中の方へ向けたアプローチ
☐ デイケア・地域活動支援センターでの活動
☐ その他（ ）

2. 前回のパンフレット周知後、周囲で変化はありましたか？（複数回答可）

- ☐ ピアサポーターについて知る機会になった
☐ ピアサポーターに興味を持たれた方がいた
☐ ピアサポーターに相談してみたいという声を聞いた
☐ ピアサポーターになりたいという声を聞いた
☐ 特に変化は感じない。
☐ その他（ ）

3. パンフレットの内容は理解していただけましたか？

- ☐ 大変よく分かった ☐ よくわかった ☐ あまりわからなかった ☐ わからなかった
パンフレットの内容でわかりにくい点や改善点があれば教えてください。

[]

4. ピアサポーターの活動が今後広がっていくためにどのような取り組みが必要だと思われますか？
ご自由にご記入ください。

[]

本アンケートにご協力いただきありがとうございます。今後のピアサポート活動のご参考にさせていただきます。

問い合わせ先・返信先

高松市障がい者基幹相談支援センター（中核拠点）

〒760-0066

高松市福岡町2丁目24番10号社会福祉法人高松市社会福祉協議会
福祉コミュニティセンター高松東館内

TEL：087-880-7012 FAX：087-880-7013

担当：

令和3年度11月度 精神保健福祉部会 高齢者福祉分野との連携に関するWG記録
資料3

1、日時：令和3年11月29日（月）14：00～15：00

2、場所：高松市社会福祉協議会東館2階南会議室

3、出席機関

高松市地域包括支援センター 高松市障がい福祉課 いわき病院 訪問看護ステーションビートかがわ 訪問看護ステーションデューン栗林 相談支援事業所 WE 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

4、精神科病院からの高齢者の退院支援のポイントについて

- ・大西病院では、以前より地域包括支援センターとの連携がスムーズになったと感じる。
また、退院前にケアマネと地域での生活について協議する場も持っている。
- ・健康づくり推進課の保健師に周知した。

5. 新たな課題に対する取り組みについて

令和4年度に高松市の介護支援専門員と精神保健福祉部会で合同研修会を企画する。

(1) 目的：介護保険分野と精神医療保健福祉分野が連携して支援している好事例を共有することで両分野の連携のあり方について考える機会を設けると同時に実践で行かせる気づきが得られることを目的とする。

(2) 開催時期：来年度

(3) 対象：介護支援専門員（高松市）と精神保健福祉部会委員等

(4) 内容：

① 2例の好事例紹介およびグループワーク

(事例1)

障害サービスから介護サービスに移行する場合、サービス内容が変わる（ほとんどの場合、厳しくなることが多い）、負担額増等の理由から揉めることが多い。障害サービス利用時から、介護保険移行時のサービスの違いについて説明を十分にしておくことが望ましいことが理解できる事例

(事例2)

高齢の親と障がいがある本人の支援を行うにあたり介護保険分野と精神医療保健福祉分野が連携して支援する必要性が伝わる事例

② 介護支援専門員と精神医療保健福祉分野の支援者が自由に情報交換ができるグループワーク

5、次回WG

- ・日 時：令和4年1月（後日に日程調整する）
- ・場 所：高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点
- ・内 容：研修会に使用する好事例の確認
介護保険分野と精神医療保健福祉分野の関係者の合同研修の中長期的な計画策定と令和4年度研修課の骨子を定める。

資料 4 病院 WG 報告書

(作成者：)

病院名	三光病院
作成日	令和 3 年 12 月 8 日
内 容	<u>1.病院 WG 実施状況</u> ①退院支援プログラムの実施状況 【いろどりグループ】 奇数月 第 2 火曜日 14：30～ 11/30 院内フェーズは下がったが、いつまた感染拡大しフェーズが上がるかもしれないので、1つの病棟のみを対象にプログラムを実施。 (笑顔広げる会と合同で開催) 【笑顔を広げる会】 毎月 第 4 火曜日 14：30～ 11/30 院内フェーズは下がったが、いつまた感染拡大しフェーズが上がるかもしれないので、1つの病棟のみを対象にプログラムを実施。 (いろどりグループと合同で開催) ②今後の退院支援プログラム運営について 実施についてはコロナウィルス感染状況を踏まえその都度検討をしていくことにする。 現在院内フェーズが下がったが、今後いつまた感染状況拡大しフェーズが上がるかもしれないのでしばらくの間はこれまでと同様対象の病棟単位で実施することとする。 <u>2.地域移行支援について</u> 特になし

印

病院 WG 報告書

(作成者：)

病院名	大西病院 WG
内 容	<u>1.病院 WG 実施状況</u> ①退院支援プログラムの実施状況（プログラムの様子、参加者の反応など） 8/19、第 4 回目、参加者 12 名。衛生意識をテーマに新型コロナウイルスについてメンバーに伝えた。このコロナ禍で生活に支障をきたす中、コロナウィルスとは上手く付き合っていく必要があり、そのためにもコロナウィルスへの正しい知識や予防法、ワクチン接種の重要性について取り上げた。 8/26、第 5 回目、参加者 14 名。気分発散と運動を目的に OT よりストレッチとダンスを行う。ダンスは簡単に踊れるように振り付けされていたが、アップテンポな曲であったため、かなりの運動量であった。メンバーによっては久しぶりの運動であったためか、汗が出ているメンバーもいた。最後までよく体を動かされていた。 9/16、第 6 回、参加者 11 名。①薬の効果②薬の副作用③下剤の調整の 3 点に加えて、食事と運動の重要性についても触れて薬に頼らないのも大事であることを薬剤師より伝えた。服薬についての質問も参加者から多く出た。 9/30、第 7 回目、参加者 14 名。これまでの復習の機会として、○×クイズのレクリエーション形式で改めてメンバーの理解を深めていった。時事問題・グループホーム問題・お薬問題・日常問題・コロナ問題など全部で 20 問出題し、参加者に答えてもらった。クイズ形式ということで参加者も集中して答えられていた。 10/21、第 8 回、参加者 11 名。管理栄養士から栄養指導をしていただく。栄養バランスや間食の摂り方、特にメンバーの中で糖尿病への関心が高いことから、糖尿病にならないために気をつけることについて話してもらう。また自炊の際の献立のポイントについて講義してもらう。 10/28、第 9 回、参加者 12 名。前回の栄養士の講義を踏まえて、実際に自炊の計画を立てていく。参加者からは赤飯を食べたいとの意見が。チーズハンバーグ、赤飯、フルーツサラダなど。調理の工程やグループ分けなどミーティングした。 11/18、11/25。第 10 回、第 11 回をおこなう。グループを 2 つに分けて調理を実施。赤飯も缶詰を使えば簡単に出来上がり、参加者からは「便利～」との声も聞かれた。上手にできあがり、普段の給食よりも豪華な昼食となった。参加者も久々の調理に、楽しかった、難しかったと感想を言われた。 ②地域移行支援の実施状況 とびたち倶楽部の参加者 1 名が自宅への試験退院をおこない、無事に退院へと繋がる。